

3章 学校施設の目指すべき姿

学校施設を取り巻く現状や課題を踏まえ、本計画において、これからの学校施設が目指すべき姿を以下のとおりとします。

〔基本的な考え方〕

持続可能な財政運営を図りながら安全・安心・快適な教育環境の整備を進めます。

(1) 安全・安心な学校施設の推進

学校施設は、児童生徒にとって学習の場であるとともに、一日の大半を過ごす生活の場です。老朽化に伴う危険性を低減し、また、事故防止・防犯対策の面でも安全性の向上に努めます。

(2) 多様化する学習活動への対応

教育の情報化、教育内容の変化に対応できる学校施設とする必要があります。少人数授業、グループ学習、学年一斉授業、異学年交流など多様な学習活動に柔軟に対応できる施設整備に努めます。

(3) 快適な施設環境の整備

児童生徒が快適に学習・生活ができるよう、健康的で豊かな施設環境を確保することに加え、エネルギーの効率的利用や自然エネルギーの活用など環境に配慮した施設整備に努めます。

(4) ユニバーサルデザインの推進

身体的な特徴を問わず誰もが安全・安心で快適に学校生活が送れるよう、ユニバーサルデザインによる学校施設の整備に努めます。

(5) 防災拠点機能の向上

災害時の避難所として、多目的トイレや洋式トイレの整備、施設のバリアフリー化、天井や設備機器などの非構造部材の落下防止対策、災害に耐える給排水管・電気・その他各種設備の整備に努めます。